

境港野外フェス復活!!

TICKET

【各プレイガイド一般販売】
5月27日(火)から販売中

GREEN ISLAND C-IDOL
@ピコチケット

チケット
コード 299036
https://pia.jp/

ローソンチケット
Lコード 61485

- PLANT-5 ● みなとテラス ●
- 米子コンベンションセンター ●
- 米子高島屋 ● アルテプラザ(米子イオン) ●
- 島根県民会館チケットコーナー ●
- 境港市役所観光振興課 ● ほか

※その他のプレイガイドは
公式HPをご確認ください。

一般 ¥8,000 (当日は同額)	高校生以下 ¥4,000 (当日は同額)
-------------------------	----------------------------

お問い合わせ

みなと祭前夜祭企画実施本部事務局
Tel.0859-47-1068
Fax.0859-44-7957
E-mail: kanko@city.sakaiminato.lg.jp

会場案内



◀ようかいミュージック
フェス2025 公式HP

佐藤竹善
Chikuzen Sato



一青窈
Yo Hiroto



藤巻 亮太
Ryota Fujimaki



ARTISTS



第80回 みなと祭前夜祭 野外Live ●全席自由
雨天決行

ようかい ミュージックフェス 2025

YOKAI MUSIC FES.

2025

港の音宴へ集え!!

杏子
Kyoko
with
あらき ゆうこ
Yuko Araki



BLACK BOTTOM BRASS
BAND



2025

7.26
Sat

17:00-22:00

●開場/16:00 (優先入場/15:30)

JR境港駅前駐車場
特設ステージ

鳥取県境港市大正町221番地



夜の妖怪探索をお楽しみください!



水木しげるロード
妖怪影絵 & ライトアップ

水木しげる
記念館

2024年1月にリニューアルオープンしました!

【主 催】みなと祭実行委員会(みなと祭前夜祭企画実施本部)

【共 催】境港商工会議所、(一社)境港青年会議所、境港観光協会、境港物産振興会、水木しげるロード振興会、境港市文化振興財団、株式会社ウミライ、NX境港海陸(株)

【後 援】鳥取県、鳥取県教育委員会、境港市、境港市教育委員会、水木プロダクション、境港市大正町自治会、西日本旅客鉄道株式会社 山陰支社、全日本空輸株式会社 山陰支店、皆生温泉旅館組合、新日本海新聞社、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ、株式会社中海テレビ放送、エフエム山陰、BSS山陰放送、DARAZ FM、天然温泉境港夕風の湯 御宿野乃 【特別協力】日本海テレビ

みなと祭には
「ふるさと納税」が
活用されています。

ようかいミュージックフェス2025

YOKAI MUSIC FES. 2025

佐藤竹善 Chikuzen Satō

Sing Like Talking のボーカルとして1988年にデビュー。
1994年からソロ活動並行。オリジナル含む、数々の作品をリリース。
代表する「Cornerstones」は、洋邦問わず、古今東西の名曲を、原曲の良さを重視しながらも多彩なアレンジを施した、佐藤竹善の音楽に対するリスペクト精神に溢れたカバーアルバムシリーズ。現在までに8作品リリース。
自身がオーガナイズするライブ「佐藤竹善 Presents Cross your fingers」は、1997年より毎年欠かさず開催されており、幅広い多くのミュージシャン・歌手の出演歴がある。
その他、ピアニスト塩谷哲とのユニット「Salt & Sugar」小田和正とのユニット「PLUS ONE」等、多彩なアーティストとのコンサート、レコーディング参加、楽曲提供やプロデュースなども行い、ジャンルを超えた高い評価を受けている。
2023年、Sing Like Talkingデビュー35周年ライブを3公演開催。
2024年、佐藤竹善ソロデビュー30周年の東名阪Zeppツアー、毎年末のジャズトリオとのクリスマスソングを中心としたツアー「Your Christmas Night2024」は過去最大の全国14か所27公演を成功させた。

SING LIKE TALKING オフィシャルホームページ <https://singliketalking.jp>
SNS YouTube: <https://www.youtube.com/@singliketalking8195>
<https://www.youtube.com/@chikuzenDJDDJ>
X(旧Twitter): <https://twitter.com/singlikestaff>
Instagram: https://www.instagram.com/chikuzen_sato/

一青窈 Yo Hitoto

東京都出身。台湾人の父と日本人の母の間に生まれ、幼少期を台北で過ごす。
2002年、シングル「もらい泣き」でデビュー。翌年、同曲で日本レコード大賞最優秀新人賞などを受賞。5thシングル「ハナミズキ」が大ヒットを記録。映画や音楽劇への出演、他アーティストへの歌詞提供など、歌手の枠にとらわれず活動の幅を広げている。また、音楽療法に興味を持ち、病院や児童養護施設などでの歌唱を続けている。
2025年は『一青窈 Live 2025』と銘打ち、様々なライブを予定している。

公式サイト <https://www.hitotoyo.jp/>

藤巻 亮太 Ryota Fujimaki

1980年生まれ。山梨県笛吹市出身。2003年にレミオロメンのメンバーとしてメジャーデビューし、「3月9日」「粉雪」など数々のヒット曲を世に送り出す。
2012年2月、ソロ活動を開始。1stアルバム「オオカミ青年」を発表以降も、2ndアルバム「日日は好日」、3rdアルバム「北極星」、レミオロメン時代の楽曲をセルフカバーしたアルバム「RYOTA FUJIMAKI Acoustic Recordings 2000-2010」をリリース。
2022年2月にはソロ活動10周年を迎え、2023年1月に4thアルバム「Sunshine」をリリース。
2024年3月には「3月9日」のCDリリースから20周年を記念する日比谷野外大音楽堂でのワンマンライブ「THANK YOU LIVE 2024」を開催し、2025年「THANK YOU LIVE 2025」は地元・山梨県YCC県民文化ホール大ホールにて開催した。
地元・山梨県では2018年から野外音楽フェス「Mt. FUJIMAKI(マウントフジマキ)」を主催し、2025年は9月27日(土)に開催決定。
3月26日に5枚目のオリジナルアルバム「優く脆いもの」をリリース。
続けて4月から約2年ぶりとなる全国ツアー「藤巻亮太 Live Tour 2025」を開催し、自身初の海外公演も台湾にて開催。

公式サイト・SNS <https://lit.link/ryotafujimaki>

杏子 Kyoko

1984年「暗闇でダンス」でBARBEE BOYSとしてデビュー。
1986年にリリースしたアルバム『3rd.BREAK』でブレイクし、J ROCKの一時代を築いたが1992年1月24日の渋谷公会堂公演を最後にBARBEE BOYSの活動にピリオド打つ。
同年8月1日、「DISTANCIA〜この胸の約束〜」をリリースし、ソロとして活動を開始。音楽だけでなく、ラジオ番組のパーソナリティや映画、舞台等、幅広いジャンルで活躍。Superflyや木村拓哉など多くのアーティストを手掛けてきた多保孝一をプロデューサーに迎えて配信シングルのリリースを重ね、
2021年4月28日に約8年ぶりとなるフルアルバム「VIOLET」をリリース。
2022年ソロデビュー30周年記念配信Single「30minutes」をリリース。
2023年SNSでのCover弾き語り企画が好評を博し、現在も継続中。
2024年、BARBEE BOYSがデビュー満40周年を迎えた9月21日には「Augusta Camp 2024」のスペシャルステージとして朋友いまみちとともたかと共に圧巻のパフォーマンスを披露。
11月の東阪ビルボード・ワンマン公演では、いまみちとともたか・ENRIQUEをスペシャルゲストに迎え会場を熱気の渦に巻き込むなど、ROCKレジェンド女性ボーカリストとして更なる注目を集めている。

WEB & SNS オフィシャルサイト: <https://www.office-augusta.com/kyoko/>
YouTube: <https://www.youtube.com/@kyoko.official>
Instagram: https://www.instagram.com/kyoko_anzu/
X(Twitter): <https://twitter.com/anzunokodomo>
facebook: <https://www.facebook.com/official.kyoko/>
TikTok: https://www.tiktok.com/@kyoko_anzu

あらき ゆうこ Yuko Araki

CORNELIUS、くるり、オノヨーコ、安藤裕子、salyuをはじめ多数のアーティスト達のレコーディングセッションやライブに参加しているドラマー。
MI-GU名義でオリジナルアルバム3枚、ベストアルバム1枚をリリース。
2014年に地元・鳥取県境港市のフィッシュ大使に就任。音楽を通じ、山陰地方をつなぐ活動にも尽力。
2018年よりあらきゆうこ(ヴォーカル&ドラム)、カナミネケイタロウ(ベース&ヴォーカル)、近藤康平(絵描き)によるユニット「calyboo(カリブー)」としても活動を展開。
2022年6月、David Byrne(ex.TALKING HEADS)が選曲したプレイリストにMI-GU楽曲が選ばれ話題に。
2024年は2月21日に恵比寿 LIQUID ROOMにて開催されたCORNELIUSとくるりの対バンイベント「あらき生誕祭」を皮切りに、10月には地元山陰・美保神社境内での「神と海の祭2024」など自身の生誕50周年を充実の音楽企画で彩った。
その締めくくり&新章への幕開けとして2025年2月21日の51歳バースデー当日にライブでの人気曲「Fate」を初のあらきゆうこ名義にて配信リリース。
昭和音楽大学ジャズ・ポピュラー音楽科にて非常勤講師もつとめ、後進の育成にもあたっている。

LINKS Official HP: <https://www.office-augusta.com/araki/>
Youtube: <https://www.youtube.com/channel/UC7PHJWAiehY0py4pB9IKwkg>
Twitter: <https://twitter.com/migumusic/>
Instagram: https://www.instagram.com/migu_arakiyuko/
TikTok: https://www.tiktok.com/@migu_arakiyuko

BLACK BOTTOM BRASS BAND

1993年/関西で結成。日本を代表するニューオリンズプラスバンド。
トランペット・トロンボーン・テナーサックス・スーザフォン・スネアドラム・ベースドラムの6人編成。
1996年/ボニー・キャニオンよりメジャーデビュー。
1997年/ニューオリンズにてライブ&レコーディングを行い、現地の新聞やラジオ等で大きく取り上げられる。以来、現在に至るまで幾度となく訪れ、親交を深めている。
1999年/活動拠点を東京へ。全国各地でのライブツアー・イベント出演の他に、フジロック・ライジングサン・サマーソニック・釜山国際ロック・ドラムプラスフェス・台中ジャズフェスetc ~ 様々な国内外のフェスティバルに多数出演している。また、JRAやユニクロのCM曲を担当するなど、T V、映画に多数の楽曲提供を行ったり、緩井智恵・甲本ヒロト・東京スカパラダイスオーケストラ・トータス松本・BEGIN・斉藤和義・m-flo・ハナレグミ・EGO-WRAPPIN'・MONGOL800・くるり・八代亜紀・日食など、藤原聡(Official髭男dism) etc ~ 様々なアーティストとコラボレーションを行なう等、活動の幅を広げている。現在までに、アルバムを26枚発売。最新作は、結成30周年アルバム『ロマン』(2023年9月)。
音楽の楽しさをストレートに伝えるブラフワークショッパや学校公演、アウトリーチは全国各地で大好評!(一財)地域創造 登録アーティストとしても活躍中。

※これは出演順ではありません。出演順は公式ホームページで発表します。